

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
<p>1 実践1 【LGBTQ に関する学習】</p>	<p>本校では、「LGBTQ+」という言葉を知っているが言葉の意味を理解していないことや、自分の性的指向について戸惑いや不安を感じている生徒がいる。それを受け、全学年で特別の教科道徳において、動画を活用し、性的マイノリティ及び「SOGI」についての理解を促進した。また、小学校の運動会をテーマにした男女差別について、ワークシートを活用しながら、多様な考えに触れる機会を設けた。「LGBT」と「SOGI」の違いを正しく理解し、自分だけでなく誰もが生きやすい社会について様々な考えに触れ、自分事として捉えさせた。</p> <p>成果</p> <p>性的指向・性自認（性同一性）に関する正しい理解につながった。自分事として、自分の性について考えたり、相手に対する言葉や態度を振り返ったりすることで、多様な性を理解し、偏見や差別のない言動をしようとする気持ちを育むことができた。</p> <p>課題</p> <p>生徒が社会の一員として誰もがありのままに受け入れられ、自分らしく生きることができる社会を実現しようという気持ちを醸成するところまで至らなかった。教科等横断的な取組として計画的に取り上げて、正しい理解を深め、社会参加について考える機会を設けていきたい。</p>
<p>2 実践2 【犯罪被害者遺族講演会】</p>	<p>犯罪被害者の遺族による体験談を通じて、自分や他人の命の大切さや、罪を犯してはならないことなどの規範意識を養う場を設けた。犯罪被害者等の思いや立場を知るとともに、犯罪被害者等の人権を考え、犯罪被害者支援に対する理解を深めた。</p> <p>成果</p> <p>遺族の話を通じて、現実に一瞬にして命が奪われてしまうことがあることや残された家族の苦しみなどの命の尊さを実感し、自他の命を大切にしようとする気持ちを育むことができた。また、自分事として交通事故の加害者や被害者にならないための手立てを知ることができた。</p> <p>課題</p> <p>交通事故の事例を知ることを通して命の尊さは実感できたが、日常生活の中で、心ない言葉や人を傷つける行動が見られる。交通事故だけでなく、何気ない言動やいじめ、暴力から奪われる命があることも認識し、学校全体で人権意識を高めていくことが必要である。</p>